

---

# JFEシステムズ株式会社

2010年3月期上期(4月～9月)

決算説明会

2009年10月28日

# 目次

---

- |                                |            |
|--------------------------------|------------|
| I . 2010年3月期上期<br>(4月～9月)決算概況  | P 3        |
| II . 2010年3月期業績見通し             | P15        |
| III . 重点課題への取組み<br>(補足資料:単体損益) | P24<br>P31 |

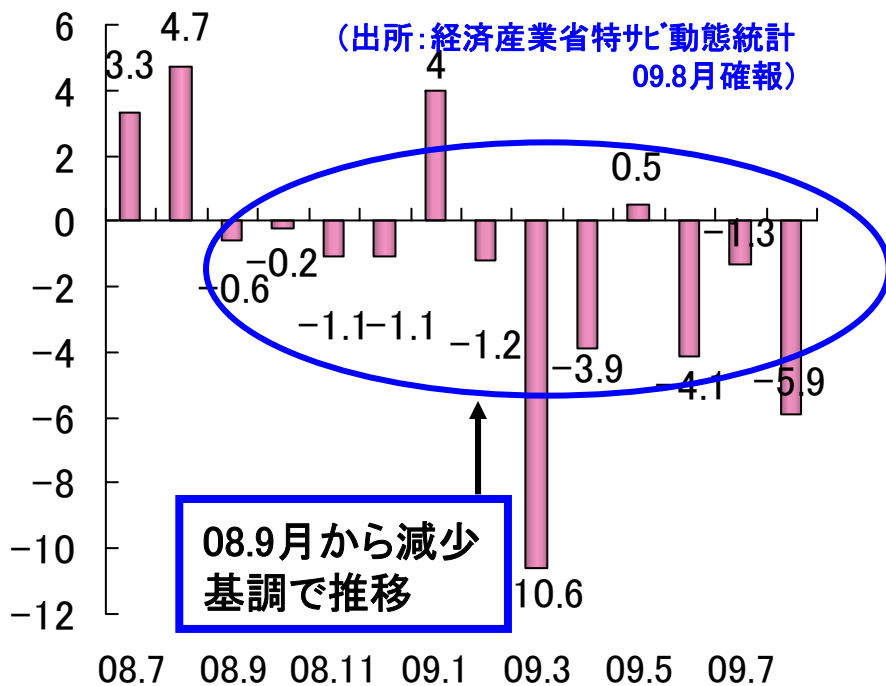
---

# I . 2010年3月期上期 (4月～9月) 決算概況

# 事業環境認識(情報サービス業界)

- 08下期より急速に事業環境が悪化 → 悪化幅が拡大。
- 特に当社の主力顧客業種である鉄鋼、自動車、電機、銀行は厳しい。
- 食品、通信、カード分野は比較的堅調。

<情報サービス業売上高前年同月比>



<業種別ソフトウェア投資動向(前年同期比)>

(出所: 日銀短観09.6月調査)

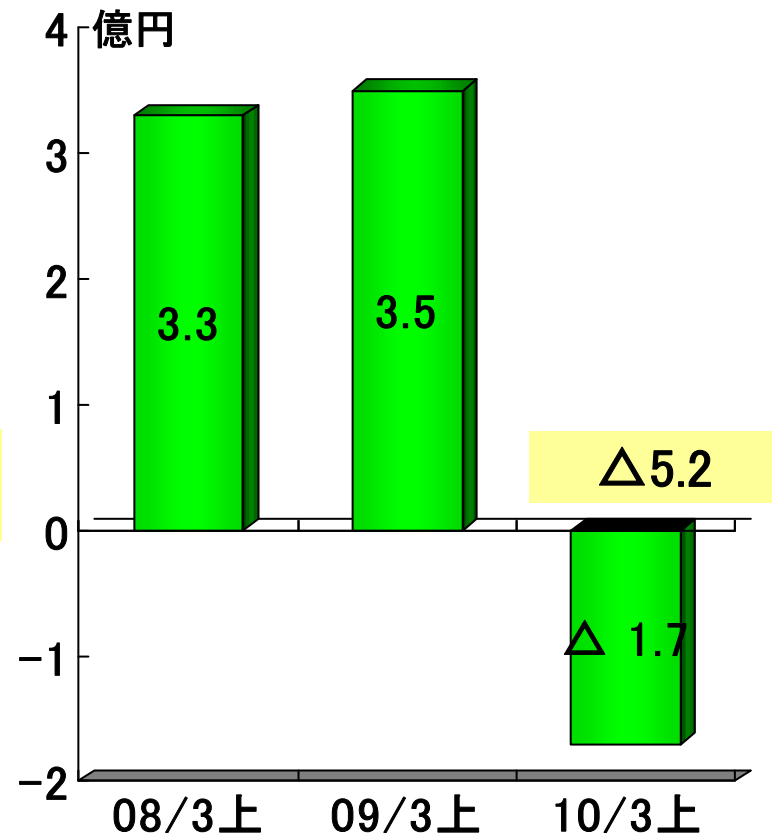
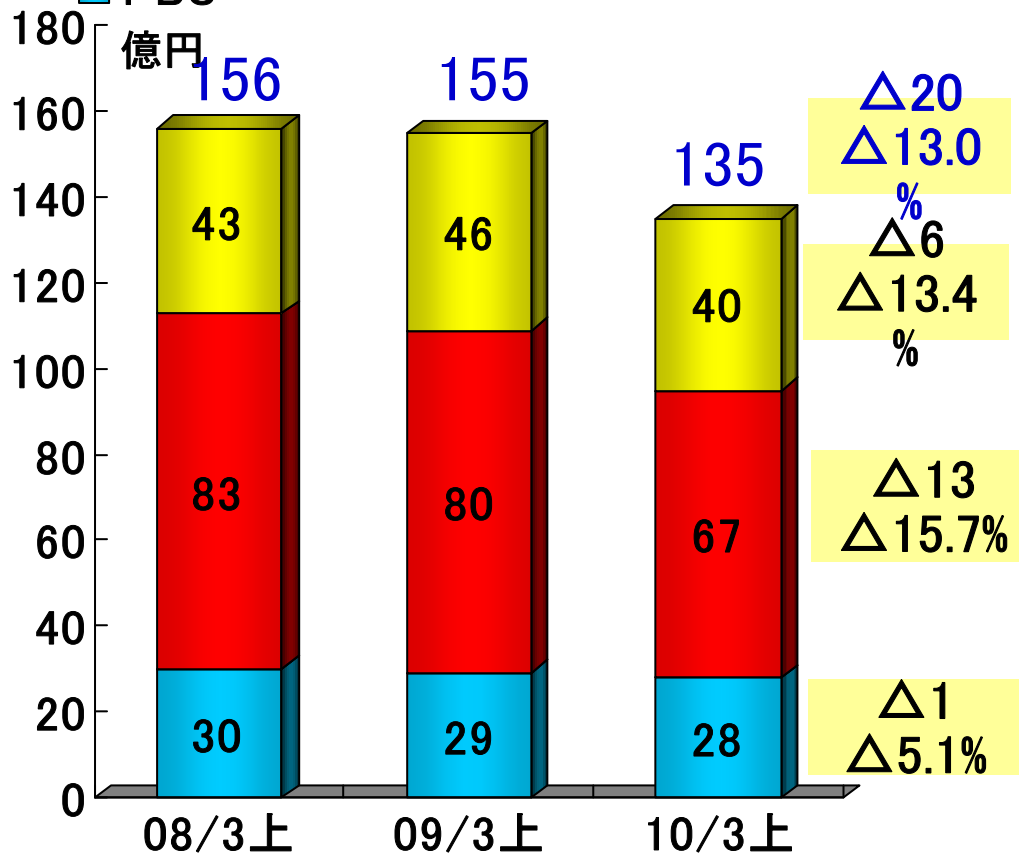
業種		09下期	当社主要顧客
製造	製紙	6%	王子製紙
	鉄鋼	△30%	JFEスチール
	食品	△3%	SK食品、他
	電機	△14%	東芝
	自動車	△31%	トヨタ、マツダ
通信		2.2%	KDDI
電力・ガス		38%	—
金融	銀行	△13%	みずほ、三菱
	保険	26%	—
	カード	10%	UCカード

# 2010年3月期上期業績の概要

## <連結売上高>

## <連結経常利益>

- BAS (JFEスチール向け) BAS: ビジネスアプリケーション・システム事業
- BAS (JFEスチール以外) PBS: プラダデータベース・ソリューション事業
- PBS



# 2010年3月期上期業績(連結:計画比)

単位:百万円

	計画A 09/4月	計画B 09/7月	実績C	増減(C-B)	
				金額	率
売上高	13,500	13,500	13,525	25	0.2%
営業利益	△ 140	△ 320	△ 169	151	-
経常利益	△ 140	△ 320	△ 169	151	-
(経常利益率)	△ 1.0%	△ 2.4%	△ 1.3%	-	-
四半期純利益	△ 80	△ 190	△ 93	97	-

■7月に一旦下方修正したが、その後挽回し、実績はほぼ期初計画に近づけることができた。  
(通期見通しは期初計画を維持)

# 2010年3月期上期業績 (連結:前年同期比)

単位:百万円

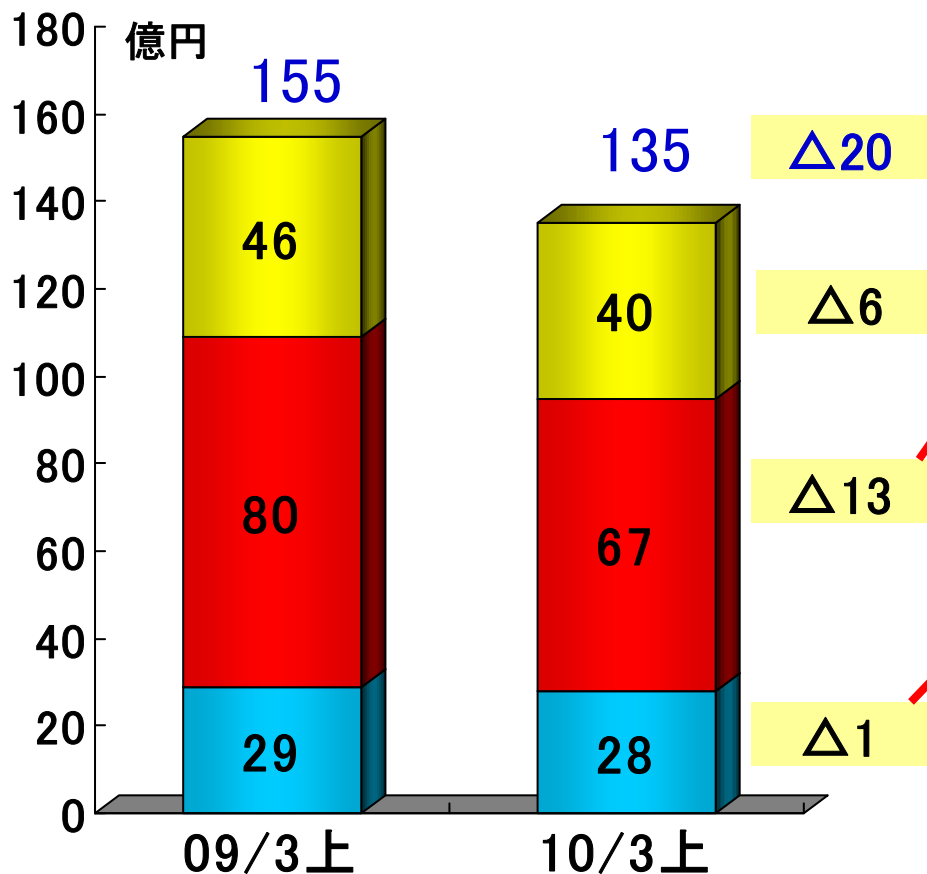
	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	
			金額	率
売上高	15,551	13,525	△ 2,026	△ 13.0%
売上総利益	2,601	2,052	△ 548	△ 21.1%
(売上総利益率)	16.7%	15.2%	-	-
営業利益	344	△ 169	△ 513	-
経常利益	352	△ 169	△ 522	-
(経常利益率)	2.3%	△ 1.3%	-	-
特別損益	0	31	31	-
四半期純利益	184	△ 93	△ 277	-

■前年同期に比べ、大幅に収益が悪化。

## 売上高増減の内訳(連結:対前年同期)

- BAS (JFEスチール向け)
- BAS (JFEスチール以外)
- PBS

億円



### BAS事業 (JFEスチール以外) 増減

- ・ JFEグループ会社向け  $\Delta 5$
- ・ 金融向け  $\Delta 2.5$
- ・ 製造流通等向け  $\Delta 1.5$
- ・ KITシステムズ連結寄与  $\Delta 4$

合計  $\Delta 13$

億円

### PBS事業増減

- ・ 通信顧客 + 2.1
- ・ 食品  $\Delta 0.3$
- ・ 電子帳票  $\Delta 0.7$
- ・ BI  $\Delta 1.5$
- ・ その他  $\Delta 0.6$

合計  $\Delta 1$



# 2010年3月期上期



## 事業別売上総利益内訳(連結:前年同期比)

単位:百万円

	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	
			金額	率
BAS事業	1,997	1,540	△ 457	△ 22.9%
(売上総利益率)	15.8%	14.3%	—	—
PBS事業	604	512	△ 92	△ 15.2%
(売上総利益率)	20.6%	18.4%	—	—
全社計	2,601	2,052	△ 548	△ 21.1%
(売上総利益率)	16.7%	15.2%	—	—

# 2010年3月期上期

## 売上総利益増減の要因(連結:前年同期比)

百万円

売上総利益増減要因(○増益、△横ばい、×減益)	影響額
<p>1. BAS事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>× JFEスチール向け、同グループ会社向けを含めた輸出型製造業および銀行向けを中心とした主要顧客からの情報システム支出の抑制による売上高の減少。</li> <li>× 競争激化による価格条件の悪化や空き要員コスト増などによる利益率の低下</li> </ul>	<p>△457</p>
<p>2. PBS事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有力通信顧客からの売上の増加。</li> <li>△ 電子帳票、食品は堅調に推移。</li> <li>× その他プロダクト(BI等)は収益減少。</li> </ul>	<p>△92</p>
<p>合計</p>	<p>△548</p>

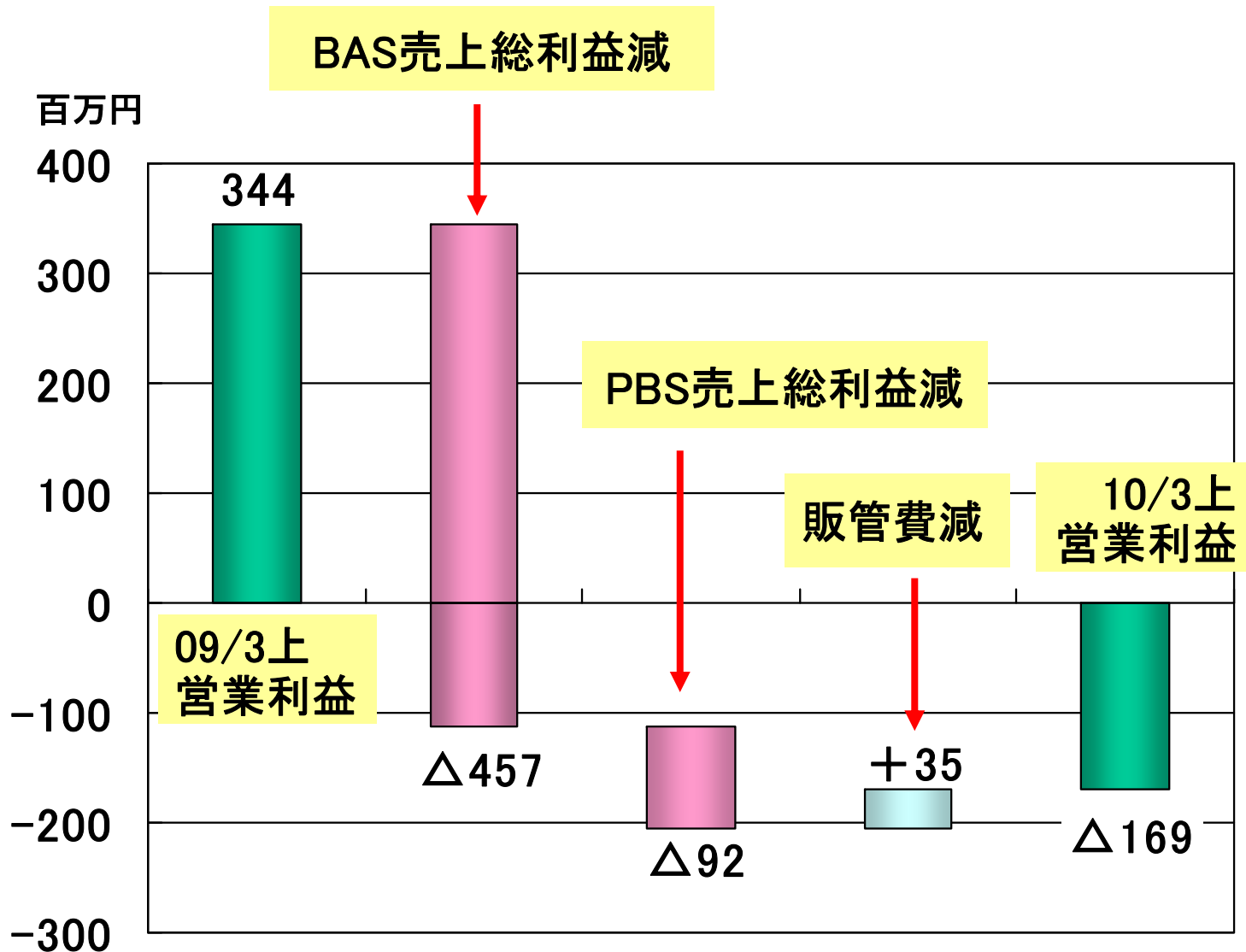
2010年3月期上期

販管費、営業外損益の増減(連結:前年同期比)

- **販売費・一般管理費：35百万円減少**  
(09/3上：2,257百万円→10/3上：2,222百万円)
- **特別損益：31百万円改善**  
(09/3上：0百万円→10/3上：31百万円\*1)  
\*1：訴訟損失引当金の戻入れ

# 2010年3月期上期

## 営業利益増減の要因整理(連結:対前年同期)



# 2010年3月期上期

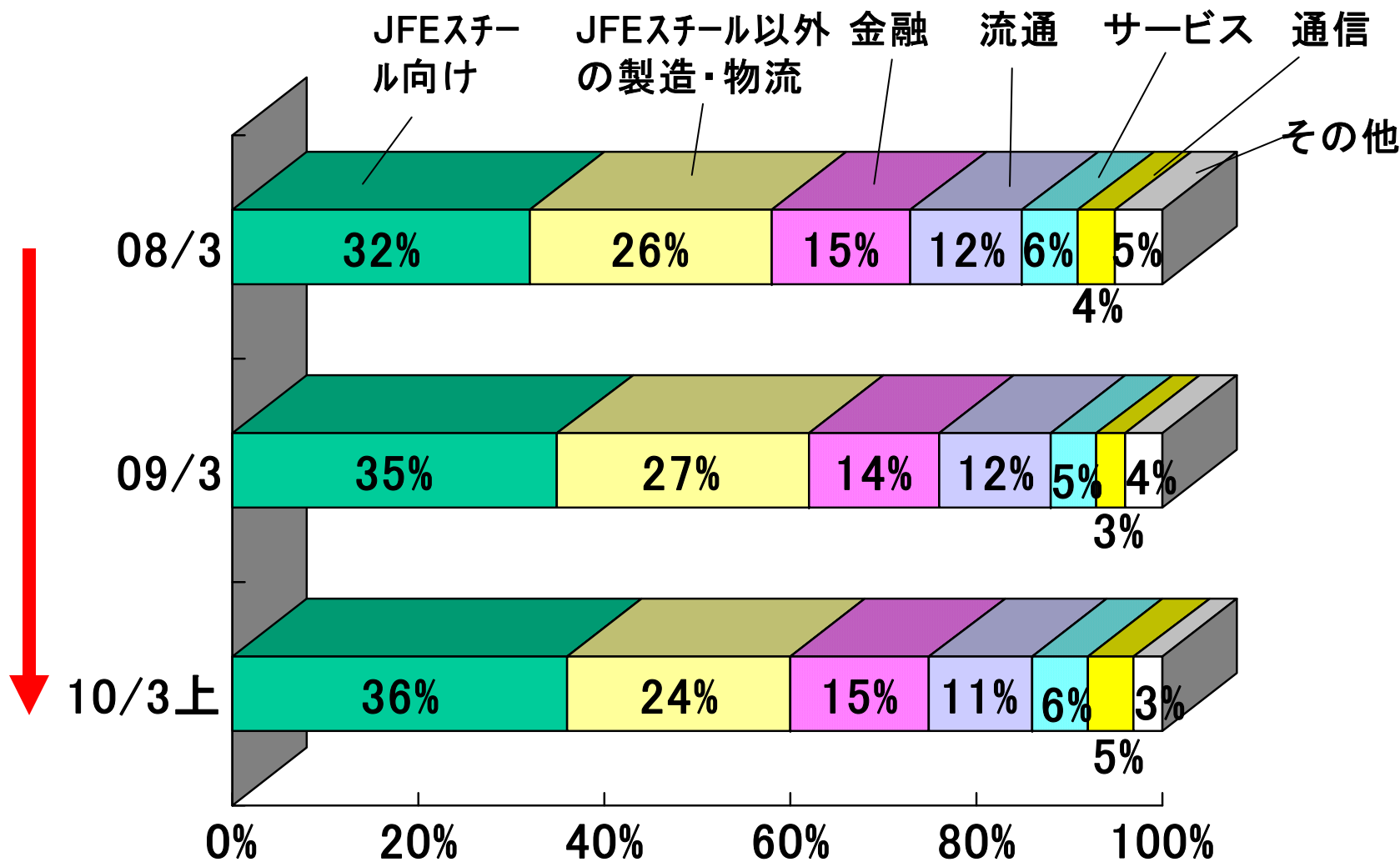
## 経営指標(連結:前年同期比)

単位:百万円

	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	
			金額	率
借入金	0	0	0	-
自己資本	8,204	8,293	89	1.1%
総資本	14,950	14,810	△ 140	△ 0.9%
自己資本比率	54.9%	56.0%	-	-
ROE	2.2%	△ 1.1%	-	-
従業員数(人)	1,515	1,545	30	2.0%
売上高/人	10.3	8.8	△ 1.5	△ 14.7%
経常利益/人	0.23	△ 0.11	-	-

# 2010年3月期上期

## 販売先業種別売上構成(単体)

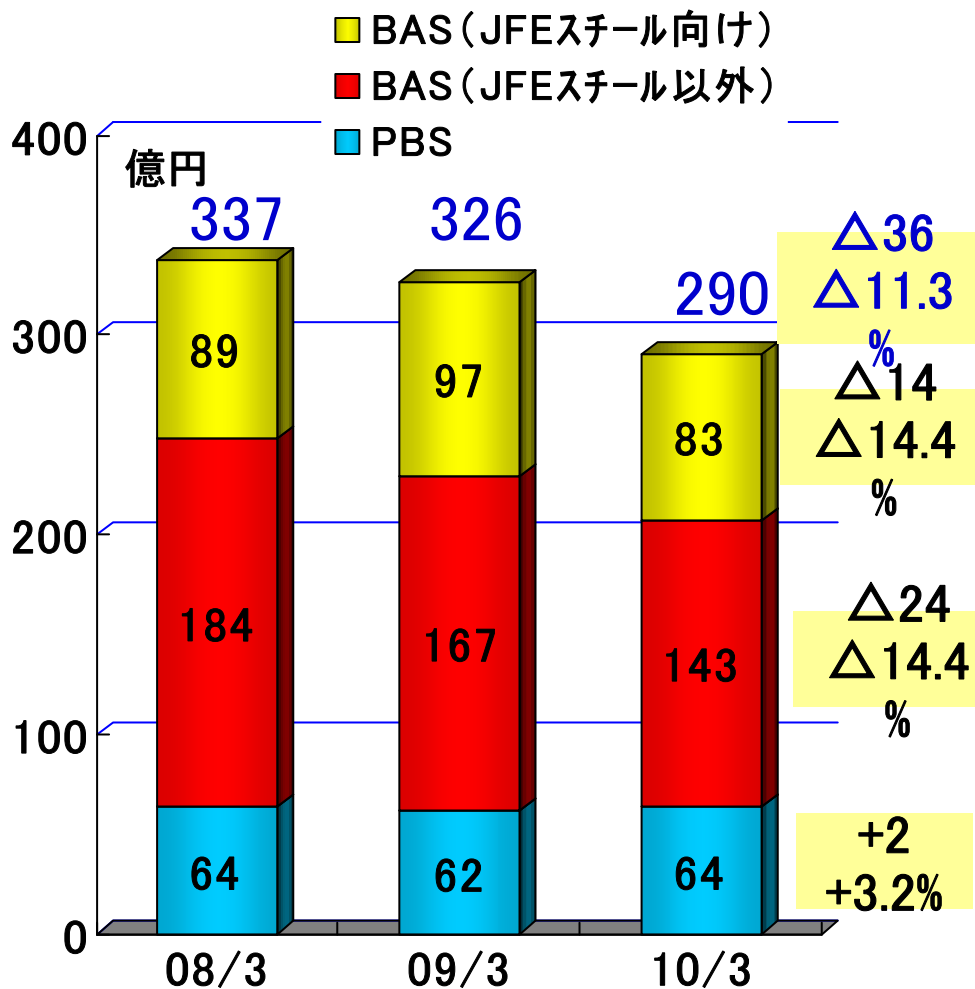


---

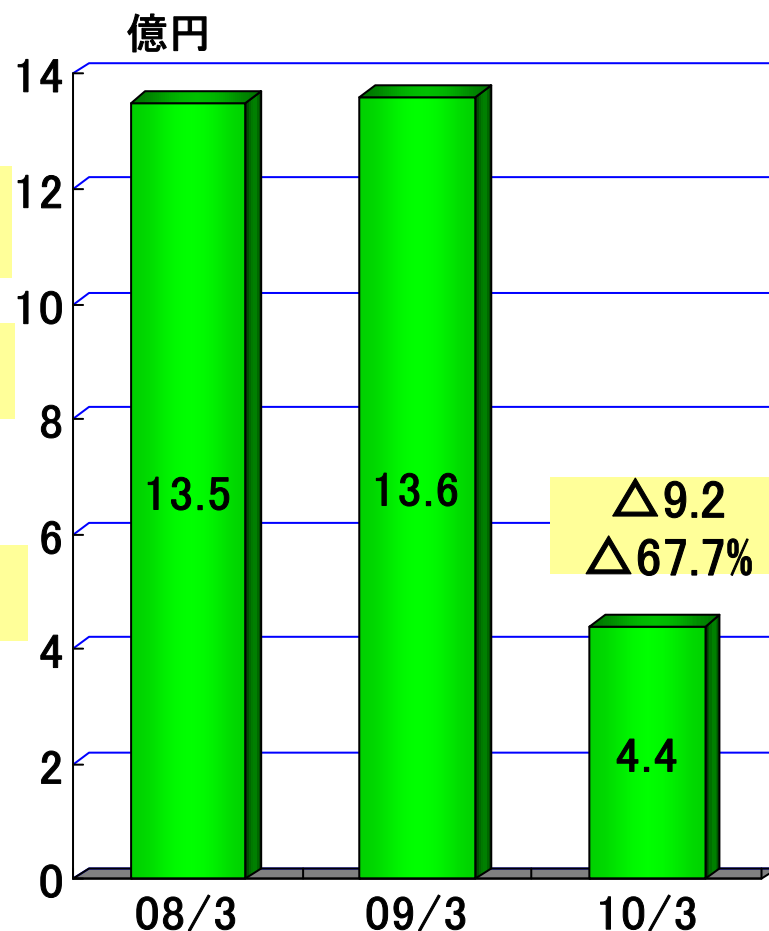
# Ⅱ. 2010年3月期 業績見通し

# 2010年3月期の収益見通し概要

## 連結売上高



## 連結経常利益





# 2010年3月期見込み(連結:前期比)

単位:百万円

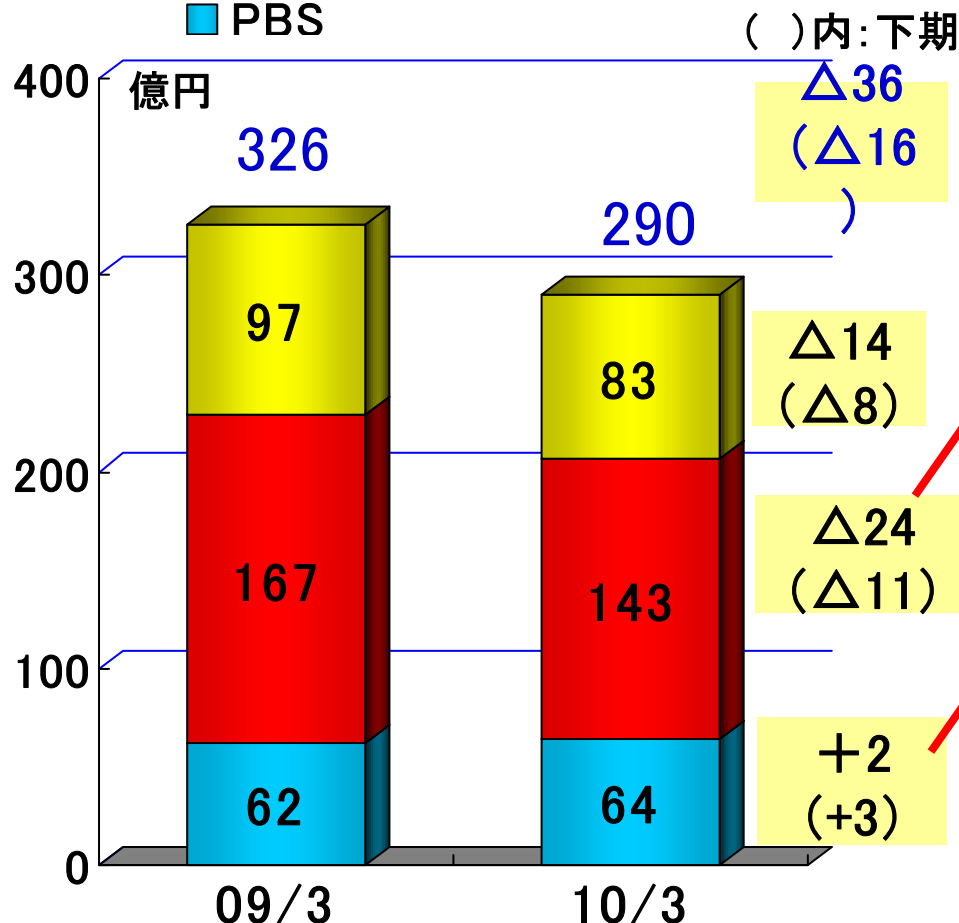
	2009/3 実績	2010/3 見込み	増減	
			金額	率
売上高	32,687	29,000	△ 3,687	△ 11.3%
売上総利益	5,896	4,880	△ 1,016	△ 17.2%
(売上総利益率)	18.0%	16.8%	—	—
営業利益	1,362	440	△ 922	△ 67.7%
経常利益	1,361	440	△ 921	△ 67.7%
(経常利益率)	4.2%	1.5%	—	—
当期純利益	576	210	△ 366	△ 63.5%
EPS(円/株)	7,344	2,674	△ 4,670	△ 63.5%

# 2010年3月期(連結)

## 売上高見通し増減の内訳

■ BAS (JFEスチール向け)  
■ BAS (JFEスチール以外)  
■ PBS

( )内:下期 億円



### BAS事業(JFEスチール以外)増減

・JFEグループ会社	△ 10 (△ 5)
・金融向け	△ 5.5 (△ 3)
・製造流通等向け	△ 1.5 (+0)
・KITシステムズ寄与	△ 7 (△ 3)

合計 △ 24 (△ 11)

( )内:下期 億円

### PBS事業増減

・食品向けシステム	+ 1.4 (+ 1.7)
・電子帳票	△ 1.1 (△ 0.4)
・通信顧客	+ 2.5 (+ 0.4)
・BI	△ 0.7 (+ 0.8)
・その他	△ 0.1 (+ 0.5)

合計 + 2 (+ 3)

# 2010年3月期見込み事業別売上総利益 JFE

## 内訳(連結:前期比)

単位:百万円

	2009/3 実績	2010/3 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	4,417	3,420	△ 997	△ 22.6%
(売上総利益率)	16.7%	15.1%	-	-
PBS事業	1,479	1,460	△ 19	△ 1.3%
(売上総利益率)	23.9%	22.8%	-	-
全社計	5,896	4,880	△ 1,016	△ 17.2%
(売上総利益率)	18.0%	16.8%	-	-

### <BASの増減>

上期     △ 457  
下期     △ 540

### <PBSの増減>

上期     △ 92  
下期     +73

# 2010年3月期見込み

## 売上総利益増減の要因(連結:前年同期比)

百万円

下期売上総利益増減要因	影響額
<p>1. BAS事業</p> <p>× JFEスチール向け、同グループ会社向けおよび銀行向けで引き続き、売上高の減少が見込まれる。 →小口案件の獲得と空き要員発生抑止に全社的に取り組む。</p> <p>△製造等向けは原価管理、基幹業務SIの拡大に注力するとともに、来期につながる企画提案、情報収集を強化。</p>	<p>( )内:下期</p> <p>△997 (△540)</p>
<p>2. PBS事業</p> <p>○食品(流通業界展開、基幹業務システム受注等)、電子帳票を中心とした自社プロダクト展開を強化</p> <p>○有力通信顧客からの受注拡大。</p>	<p>△19 (+73)</p>
<p>合計</p>	<p>△1,016 (△467)</p>

## 販売費・一般管理費の増減(連結:前期比)

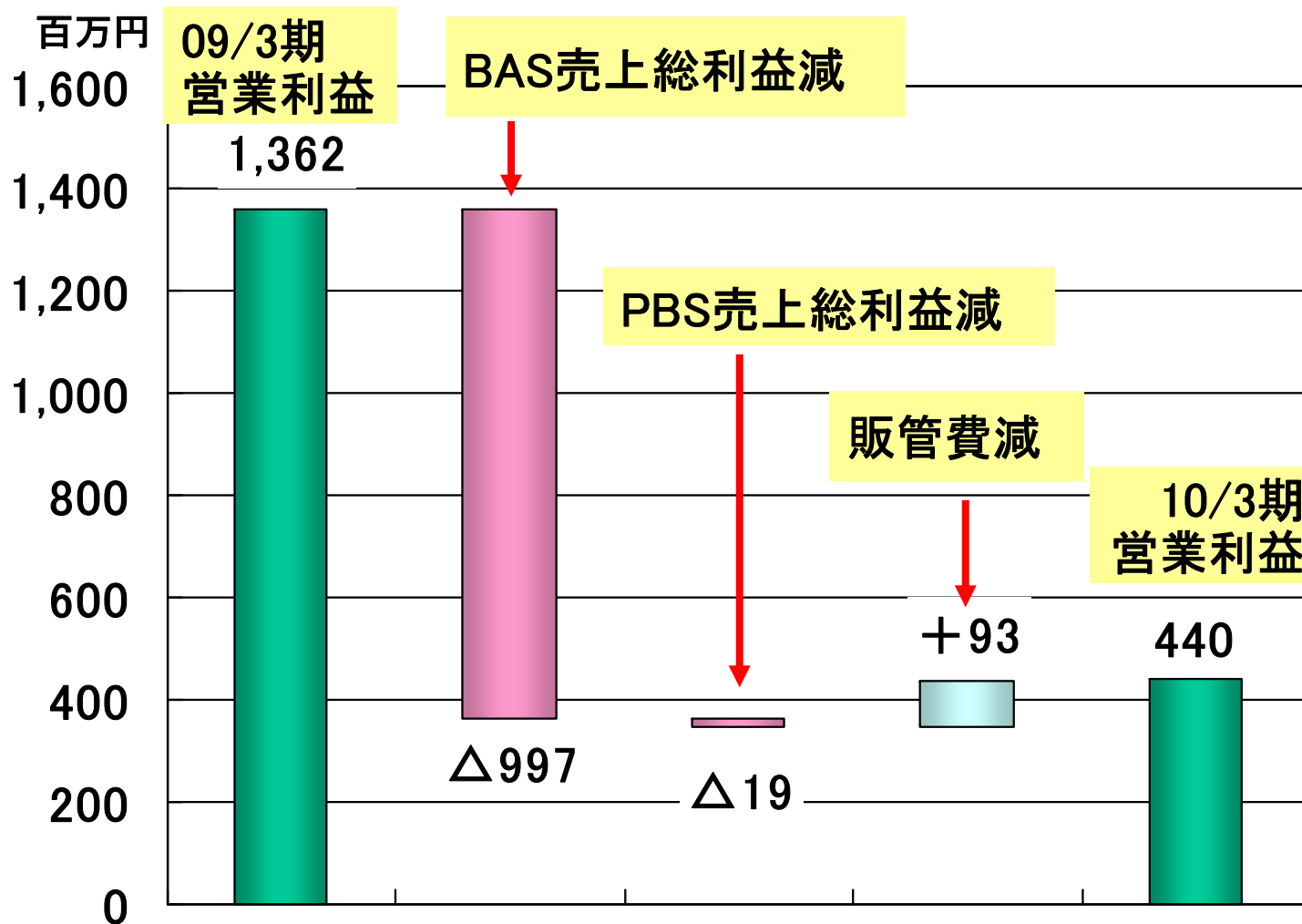
■販売費・一般管理費：△93百万円(下期△58百万円)

(09/3:4,533百万円→10/3:4,440百万円)

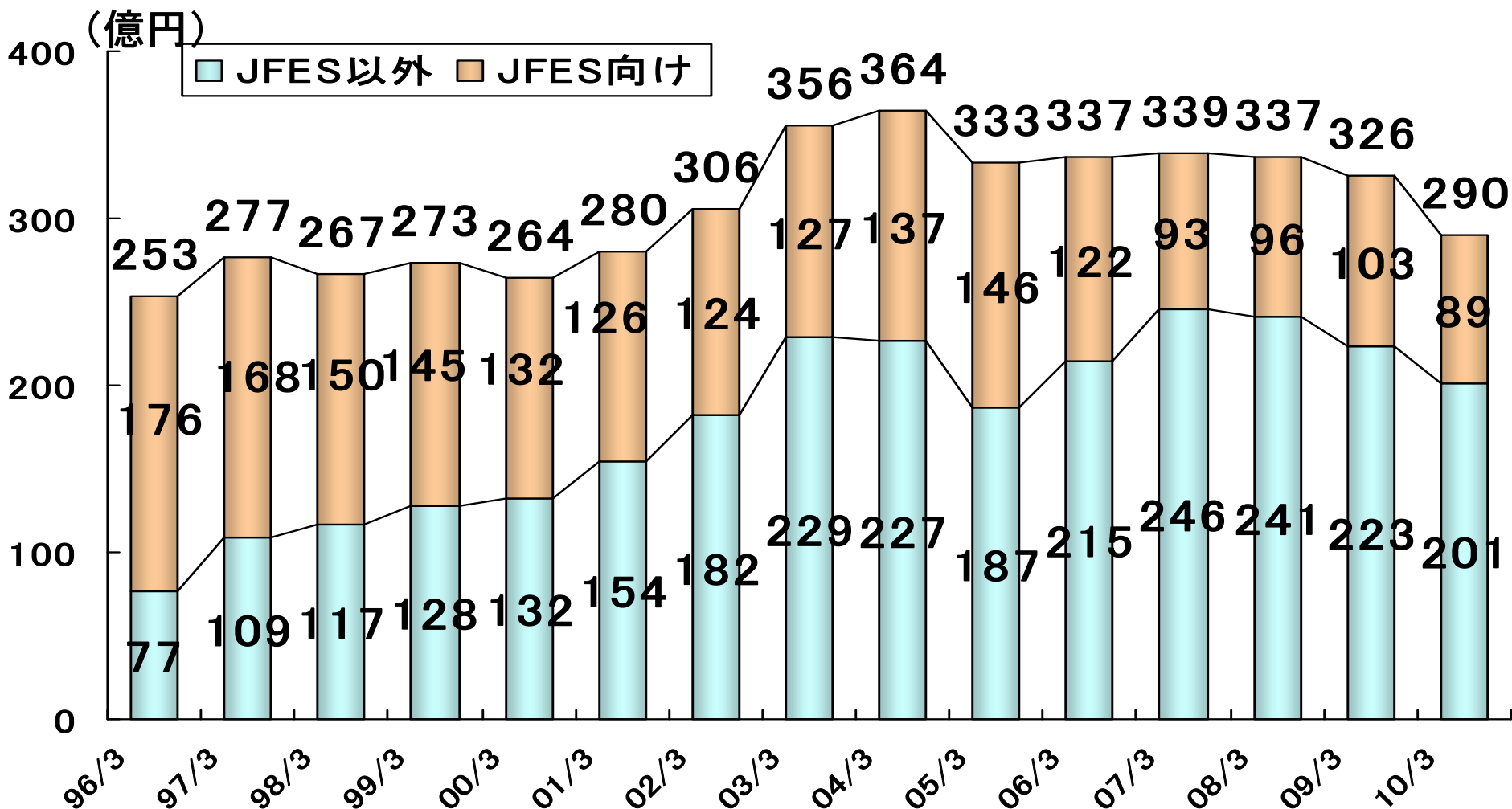
→販売費および重点投資(基幹SI関連、海外関連)  
は来期に向けて維持しつつ、その他経費は削減

# 2010年3月期見通し(連結)

## 営業利益増減の要因整理



# 売上高の推移



(注) '03/3期以降は連結売上高を記載

(見通し)

---

## Ⅲ. 重点課題への取組み状況



# 2009年度下期の重点課題

## 当面の経営環境

- 当社主要顧客のIT投資の回復が見込めず
- ・輸出型製造業 ・銀行

## 中長期経営課題

- 安定収益基盤の確立
- 基幹システム受注力強化
- グローバル対応力の強化

## 2009年度下期重点施策

今期目標の達成

黒字(経常利益4.4億円)達成

①-1: 徹底的なコスト削減

①-2: 要員のシフト、有効活用

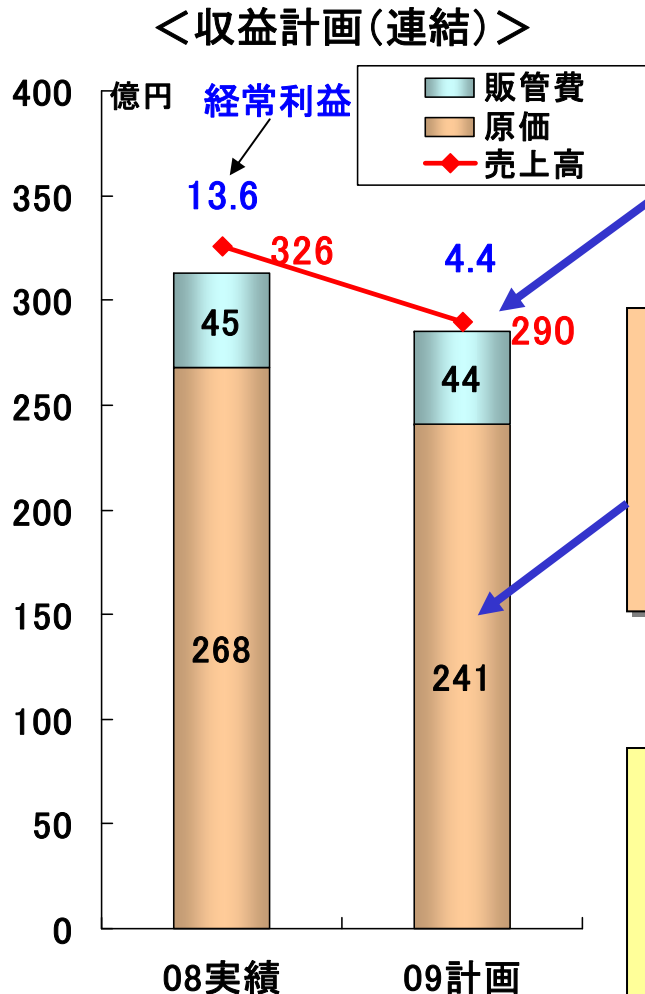
来期への備え

②重点顧客・プロダクト施策

③基幹SI戦略の推進

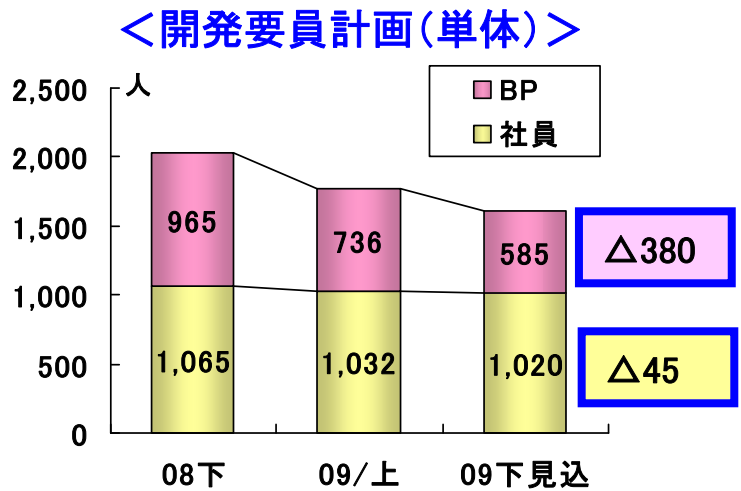
④グローバル化施策の推進

# ①徹底したコストダウンの実行と要員の有効活用



<販管費削減> :  $\Delta 1$ 億円(期初計画 $\Delta 3$ 億円)  
 ・販売費および重点投資(基幹SI関連、海外関連)は来期に向けて維持  
 ・その他経費を徹底的に削減

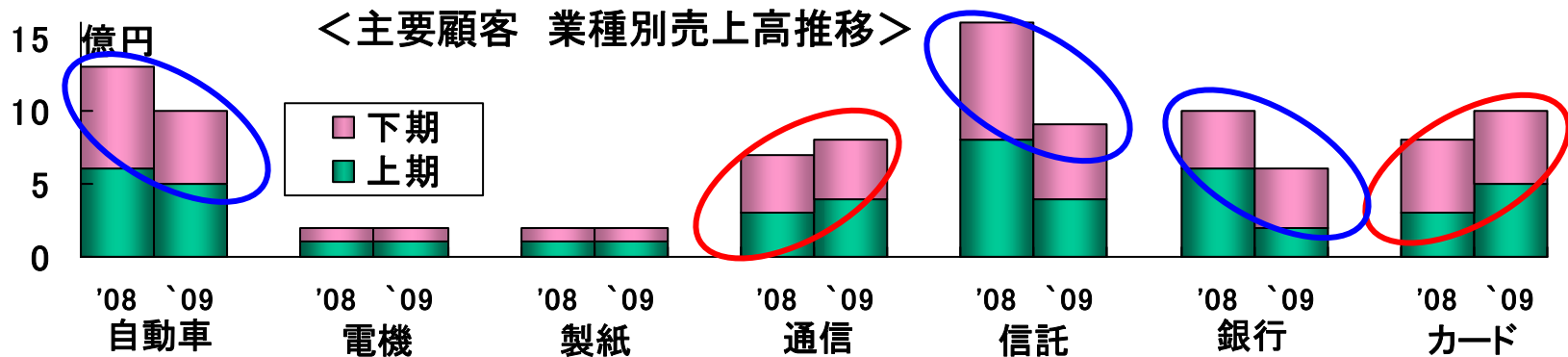
<原価削減>  
 :  $\Delta 27$ 億円  
 (期初計画 $\Delta 25$ 億円)  
 ・外注費、時間外削減を強化



<要員の有効活用>  
 ・徹底的な内製化の推進  
 ・堅調な顧客、商品へのシフト(通信、カード、食品等)  
 ・来期に向けた商品開発/IT企画(基幹業務、原価等)  
 ・技術教育の強化(オープン系技術への転換、ERP等)

# ②-1. 重点顧客向け事業方針

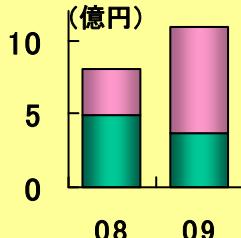
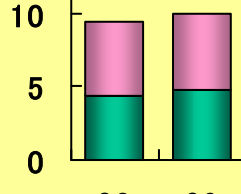
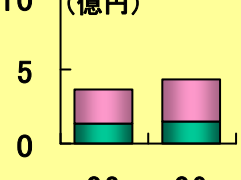
- <通信、カード>不況下でも堅調に推移。信頼を得てさらなるスパン拡大へ。
- <製造、銀行>来期につながる企画提案、情報収集の要員を先行投入。
- <共通>当社の「強み」を整理し、他社横展開、商品化等の新戦略に移行。



業種	09上期の状況	09下期のアクション
製造	厳しい状況の中、一部顧客で来期につながる案件を開拓。	顧客ごとののメリハリをつけ、来期につながる案件には積極的に要員投入する。
通信	競争力強化にIT投資は堅調に推移。計画外案件の受注も成功。	コストメリットにつながる提案を販技一体で積極的に行い、受注拡大につなげる。
金融	リフレッシュ案件のあるカード向け以外は予想以上に売上が減少。	要員スリム化に加え、当業界における当社の強みを明確にし、戦略見直しを行う。

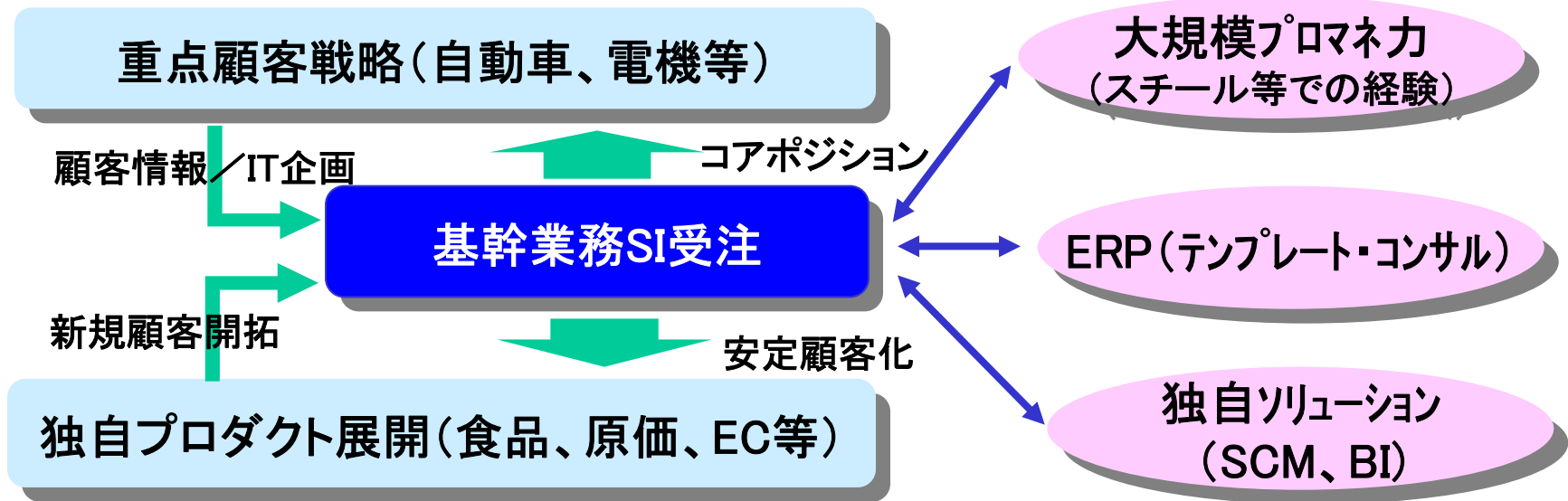
# ②-2. 独自プロダクト事業展開方針

- <食品>マーケット拡大(流通展開)とスパン拡大(基幹SI)の成長戦略を継続
- <電子帳票>確度の高い既存顧客を狙うとともに、パートナーの強化にも取り組む
- <原価>引き合い、関心は高く、「販売・技術・商品」の増強を進める
- <EC、コールセンターシステム>プロダクトのSaaS化による顧客掘り起こしを推進

主要プロダクト外受注高	09上期の状況	09下期のアクション
<p>食品</p>  <p>(億円)</p> <p>■ 下期 ■ 上期</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の安全への関心は高い</li> <li>・プロダクト以外の業務系SI(生産管理等)の受注に成功(PB関連、冷食メカ等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品メカ→流通向けへの展開 PBをターゲット、アルカナム(SaaS型)</li> <li>・プロダクト→基幹業務SIへ展開 既存顧客110社をターゲット 業務パッケージ「F-Teras」活用</li> </ul>
<p>電子帳票</p>  <p>(億円)</p> <p>■ 下期 ■ 上期</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画していた金融向けの大型案件を確実に受注</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存顧客へのアプローチを強化</li> <li>・主要パートナーとの関係強化</li> <li>・競合他社商品リプレースを狙う</li> <li>・新商品企画</li> </ul>
<p>原価管理</p>  <p>(億円)</p> <p>■ 下期 ■ 上期</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型案件延期の影響あり。</li> <li>・引き合い件数は堅調。</li> <li>・同業他社からの関心も高い (パートナー希望ベンダー増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案(コンサル)SEの育成/増強</li> <li>・機能改善→商品開発を実施</li> <li>・パートナー(営業/開発)増強による販路拡大</li> </ul>

# ③ 基幹業務SI受注力の強化

- ◆ 当社の強みの源泉である製造業の基幹系システム構築の経験、技術を活かす
- ◆ 今期から専従体制により、受注活動を強化。プロダクト(食品等)起点の展開も開始
- ◆ 大型案件の引き合いも増加しており、受注活動強化、体制増強を進める



	09上期の状況	09下期のアクション
基幹SI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注活動強化(専従体制)</li> <li>・ERP技術者育成(社内システム適用)</li> <li>・食品業界向け基幹業務SI受注</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型案件引き合いへの対応→受注獲得</li> <li>・ERP案件獲得(他社協業等)</li> <li>・食品業界向けの受注拡大</li> </ul>

# ④グローバル対応力の強化

→海外代理店契約、米国現地法人設立など今後への布石を実行

## (従来のケース)

### 欧米発商品の仕入れ

- ・EDI(スターリングコマース社)
- ・EAI(マイクロソフト社)
- ・BI(ビジネスオブジェクト社)

### 開発フェーズでの オフショア開発の委託 (コスト削減目的)

- ・JFEスチール海外案件  
／マネージ社(上海)、キャセイ(深セン)
- ・一般外販(開発)  
／J-SYS Philippines(フィリピン)

## ◆2009年度上期

- ・メルクリウス海外展開FS(\*)  
→CFS社(米国カリフォルニア州)  
と総代理店契約締結
- ・米国駐在SI案件遂行中  
→米国現地法人設立へ

- ・FS
- ・人材育成
- ・アライアンス

## ◆2009年度下期

- ・海外パートナー  
との連携拡大  
→アヲ(比), JSP(比), Achievo(中)
- ・グローバル人材育成

## (将来モデル)

### 自社商品の海外マ ーケット展開

### ITリソースの相互活用 とグローバル人材の育成

### 保守・運用までを 加えた人材活用

(\*)FS(Feasibility Study):計画の実現の可能性を環境、資源、能力

といった要因から評価・検証すること。

---

# 補足データ(単体損益)

# 2010年3月期上期の業績

## (単体: 期初計画比)



単位: 百万円

	計画A 09/4月	計画B 09/7月	実績C	増減(C-B)	
				金額	率
売上高	11,500	11,500	11,589	89	0.8%
営業利益	△ 80	△ 290	△ 186	104	-
経常利益	△ 70	△ 260	△ 163	97	-
(経常利益率)	△ 0.6%	△ 2.3%	△ 1.4%	-	-
四半期純利益	△ 40	△ 150	△ 76	74	-



# 2010年3月期上期業績 (単体:前年同期比)

単位:百万円

	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	
			金額	率
売上高	13,910	11,589	△ 2,320	△ 16.7%
売上総利益	2,193	1,737	△ 455	△ 20.8%
(売上総利益率)	15.8%	15.0%	—	—
営業利益	265	△ 186	△ 451	—
経常利益	283	△ 163	△ 446	—
(経常利益率)	2.0%	△ 1.4%	—	—
特別損益	0	31	31	—
四半期純利益	163	△ 76	△ 239	—

# 2010年3月期上期



## 事業別売上内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・システム事業(BAS)計	10,972	9,513	△ 1,459	△ 13.3%
(うちJFES向け)	4,487	3,849	△ 638	△ 14.2%
(うちJFES以外)	6,485	5,664	△ 821	△ 12.7%
プロダクトベース・ソリューション事業(PBS)計	2,938	2,076	△ 862	△ 29.3%
全社計	13,910	11,589	△ 2,320	△ 16.7%

# 2010年3月期上期



## 事業別売上総利益内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	1,589	1,252	△ 337	△21.2%
(売上総利益率)	14.5%	13.2%	-	-
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	604	485	△ 119	△19.7%
(売上総利益率)	20.6%	23.4%	-	-
全社計	2,193	1,737	△ 455	△20.8%
(売上総利益率)	15.8%	15.0%	-	-

# 販管費、特別損益の増減(単体:前年同期比)

■ **販売費・一般管理費 :  $\Delta$ 20百万円**

( 09/3上 : 1,927百万円  $\rightarrow$  10/3上 : 1,907百万円 )

■ **特別損益 : +31百万円**

( 09/3上 : 0百万円\*1  $\rightarrow$  10/3上 : 31百万円\*1 )

\*1 : 訴訟損失引当金の戻入れ

# 2010年3月期上期



## 経営指標(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	
			金額	率
借入金	0	0	0	-
自己資本	8,030	8,106	76	1.0%
総資本	13,435	13,549	114	0.8%
自己資本比率	59.8%	59.8%	-	-
ROE	2.0%	△ 0.9%	-	-
従業員数(人)	1,304	1,327	23	1.8%
売上高/人	10.7	8.7	△ 2.0	△ 18.1%
経常利益/人	0.22	△ 0.12	△ 0.34	-

# 2010年3月期見込み(単体:前期比)

単位:百万円

	2009/3 実績	2010/3 見込	増減	
			金額	率
売上高	28,845	25,000	△ 3,845	△ 13.3%
売上総利益	5,040	4,130	△ 910	△ 18.1%
(売上総利益率)	17.5%	16.5%	—	—
営業利益	1,157	390	△ 767	△ 66.3%
経常利益	1,211	410	△ 801	△ 66.1%
(経常利益率)	4.2%	1.6%	—	—
当期純利益	536	210	△ 326	△ 60.8%
EPS(円/株)	6,828	2,674	△ 4,154	△ 60.8%

# 2010年3月期見込み

## 事業別売上内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2009/3 実績	2010/3 見込	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・システム事業(BAS)計	23,226	20,030	△ 3,196	△ 13.8%
(うちJFES向け)	9,582	8,190	△ 1,392	△ 14.5%
(うちJFES以外)	13,644	11,840	△ 1,804	△ 13.2%
プロダクトベース・ソリューション事業(PBS)計	5,619	4,970	△ 649	△ 11.6%
全社計	28,845	25,000	△ 3,845	△ 13.3%

# 2010年3月期見込み



## 事業別売上総利益内訳(単体:前期比)

単位:百万円

	2009/3 実績	2010/3 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	3,584	2,720	△ 864	△ 24.1%
(売上総利益率)	15.4%	13.6%	-	-
PBS事業	1,456	1,410	△ 46	△ 3.2%
(売上総利益率)	25.9%	28.4%	-	-
全社計	5,040	4,130	△ 910	△ 18.1%
(売上総利益率)	17.5%	16.5%	-	-



## 販売費・一般管理費の増減(単体:前期比)

■販売費・一般管理費：△142百万円

(09/3:3,882百万円→10/3:3,740百万円)

→販売費および重点投資(基幹SI関連、海外関連)  
は来期に向けて維持しつつ、その他経費は削減

# 連結子会社KITシステムズの業績

## <会社概要>

- ・資本金：2億円
- ・設立：1986年10月
- ・株主：当社67.5%、JFE商事32.5%
- ・社長：畠山廣造（会長：岩橋 誠）
- ・従業員数218名（2009年9月末）
- ・事業内容：情報システム開発/運用、情報通信機器販売/付帯サービス

## <業績>

単位：百万円

	2009/3 上期	2010/3 上期	増減	2009/3 実績	2010/3 見込	増減
売上高	3,770	3,180	△ 590	7,563	6,560	△ 1,003
経常利益	93	0	△ 93	205	40	△ 165
四半期純利益	52	0	△ 52	115	20	△ 95

- ・2010年3月期上期はJFE商事／Gr会社からのシステム開発、機器売上の減少により収益が大幅に低下。
- ・2010年3月期は効率化を推進し、黒字確保を目指す。

# JFEシステムズ株式会社

ご静聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。